

ふれあい灘

令和：6年11月20日 第45号

発行：灘ふれあいのまちづくり協議会

委員長 浪平 博司

編集：広報部会

題字：橘 香陽

令和5年度収支決算及び令和6年度予算

1. 収入の部

(単位：円)

科 目	令和5年度決算 R5年4月1日～ R6年3月31日	説 明	令和6年度予算額 R6年4月1日～ R7年3月31日
運営交付金	1,504,800	定額	1,504,800
管理運営費	22,000		
R4光熱費支援額	252,000	定額	252,000
地域福祉活動費	55,000		
ふれあいのまち づくり助成金	200,000		272,000
提案型メニュー それ以外			
①小計	2,033,800		2,028,800
②その他公的補助金・助成金	0		0
前年度繰越金	57,050		84,951
運営協力金	487,200		450,000
参加費収入	122,500		65,000
積立金繰り入れ	0		0
預金利息	10		10
その他収入	9,120	コピー代、電話代	3,000
③小計	675,880		602,961
合 計	2,709,680		2,631,761

2. 支出の部

(単位：円)

科 目	令和5年度決算 R5年4月1日～ R6年3月31日	説 明	令和6年度予算額 R6年4月1日～ R7年3月31日
光熱 水費	316,284		350,000
電気代	73,654		75,000
水道代	29,272		30,000
ガス代	0		0
その他	0		0
⑤管理 運営費	52,254		60,000
通信・事務費	547	蛇口コネクター交換	10,000
※修繕費	92,400	液晶テレビ、餅つき機	100,000
※備品購入費	24,467		100,000
消耗品費	1,319,390	管理当番手当、防火 カーテン、掛け時計他	1,320,000
※その他管理費	1,908,268		2,045,000
⑤小計	69,987		367,000
⑥事業 費	332,446	マリンキッズ イベント、広報誌	10,000
ふれあいの まちづくり 助成金	123,986	総会、3日体操他	80,000
※地域福祉活動費	526,419		457,000
⑥小計			79,761
⑦ 予備費	2,434,687		2,581,761
⑦施設の管理運営費・事業費計(⑤+⑥+⑦)	0		0
⑧その他公的補助金・助成金	80,042		50,000
⑨公金支出対象外経費	0		0
⑩過年 度返還 金	10,000		0
運営交付金	0		0
ふれあいの まちづくり 助成金	0		0
その他公的補助金・助成金	0		0
その他	100,000		0
⑪積立金への繰り入れ	2,624,729		2,631,761
⑫支出額合計(⑦+⑧+⑨+⑩+⑪)	84,951		
⑬翌年度繰越金(④-⑫)			

令和五年度は、ニュースがありすぎました。日常生活を根本から変えた新型コロナが「五類」に移行しマスクから解放されましたが、地球規模の温暖化によって日本の四季が曖昧になり自然災害が増えた気がします。今夏は連日の猛暑で熱中症患者も急増、農作物にも影響を与えました。明るいニュースでは、WBCで日本代表「侍ジャパン」が決勝で米国を破り優勝。米大リーグの大谷翔平選手が大活躍し、将棋の藤井聡太竜王が史上初の八冠独占を成し遂げ、阪神タイガースが三十八年ぶりに日本一に輝くなど日本中を勇気づけてくれました。さて、令和六年度灘ふれあいのまちづくり協議会の総会が六月二日に開催され、提案された七つの議案は全て賛成多数で承認されましたことをご報告いたします。左の表は、承認された五年度の決算と六年度の予算を一つの表にしたものです。今後とも、私達の活動にご支援ご協力をお願いいたします。

《令和六年度定期総会》

新委員長 浪平 博司

《新役員の紹介》

委員長	浪平 博司 (都賀)
副委員長	田原 澄義 (都賀)
書記	今井 勝昭 (都賀)
会計	大谷 一郎 (河原)
福祉部副会長	伊集院 定義 (河原)
福祉部副会長	大藤 幸雄 (都賀)
広報部副会長	古岡 芳弘 (都賀)
広報部副会長	中井 シグ子 (河原)
広報部副会長	加藤 和彦 (河原)
広報部副会長	忍谷 富士江 (河原)
広報部副会長	大谷 一郎 (河原)
広報部副会長	高森 哲 (河原)
広報部副会長	小園 栄子 (河原)
施設管理部副会長	今井 勝昭 (都賀)
施設管理部副会長	坂西 菊美 (都賀)
施設管理部副会長	吉岡 由美子 (都賀)
事業交流部副会長	三上 厚子 (都賀)
事業交流部副会長	古岡 芳弘 (都賀)
事業交流部副会長	岩田 ひとみ (都賀)
事業交流部副会長	小畑 幸一 (都賀)
事業交流部副会長	上田 啓 (河原)
事業交流部副会長	吉田 基毅 (都賀)
事業交流部副会長	和 實 (都賀)
事業交流部副会長	寺田 しげ子 (河原)
顧問	
監事	

《新委員長の「挨拶」》

浪平 博司



この度、「灘ふれあいのまちづくり協議会」第一〇代委員長に就任致しました浪平博司でございます。設立以来、歴代委員長が汗して築いてこられた奉仕精神を継承して参ります。一方、時代の変遷も激しくネットの氾濫、AI（人工知能）などが世界を席卷していますが、便益とリスク、一つを得れば一つを失う、これも自然界の法則。飽くなき科学の進歩は両刃（もうは）の剣（つるぎ）かも知れません。溢れる情報に惑わされず適切に対応して参りたいと思います。

私の信条は「和（わ）」。お互いを重んじ、支え合い、助け合い、協調し合うこと。これが人の基本だと考えております。和は笑顔から生まれます。笑顔と会話はお金がかかりません。私たち「灘地域福祉センター」は各団体や組織の優秀なスタッフが協力してくれています。

当センターを利用される皆さんの笑顔が私たちの活力の源、お気軽にお立ち寄り下さい。そしてご意見や要望などもお聞かせ下さい。

最後になりましたが、行政を通じて他の地域

福祉センターとも情報交換や友好を深めて参りたいと思っております。
甚だ簡単ではございますが、就任のご挨拶とさせていただきます。

《灘地域福祉センターとその利用》

副委員長 大谷 一郎

一・灘地域福祉センターの誕生

神戸市立老人いこいの家条例（昭和四十四年）を基に、平成二年神戸市ふれあいのまちづくり条例が制定され、小学校区を単位に福祉活動や交流活動に自主的に取組む「ふれあいのまちづくり協議会」の設立と活動拠点として地域福祉センターの整備が位置付けられました。平成十二年、灘地域福祉センターが開設され、それに伴って灘小学校区を活動範囲とする「灘ふれあいのまちづくり協議会」が結成されました。



灘地域福祉センター外観



活動コーナー（西面）



活動コーナー（東面）



多目的室（和室を改修し誕生）

灘地域福祉センターは、活動コーナーと多目的室（和室を改修）、調理コーナー、受付事務コーナーで構成されています。活動コーナーでは、灘ふれあいのまちづくり協議会が主催する「3B体操」や「子育てサークル」が開催されています。また、地域内の高齢者を対象としたデイ・サービスなど地域の人々の自主活動の拠点となっています。九月十六日に改修工事を終えた多目的室は今後の積極的な利用が期待されています。備品としては、机・椅子の他、ピアノ、映画も上映出来るプロジェクターや大型スクリーン、会議用のワイヤレスアンプとマイク、小物では輪投げ、囲碁・将棋セットがあります。利用時間内であればどなたでも使っていただけます。

二・灘地域福祉センターの施設内容



都賀・河原地区の有志が集まり協力のもと、地域住民に向けた福祉交流活動、防災及び環境活動そして広報活動と共に地域福祉センターの管理運営業務を行っています。

三. 灘地域福祉センターの利用時間と

運営協力金

灘地域福祉センターの開館は原則、日・祝を除く月曜日から土曜日の9時30分から16時30分です。ただし、12時30分から13時までには昼休みとなります。

利用に伴う運営協力金は午前と午後に分かれています。その他休館日も利用できますので、詳細は灘地域福祉センターにお問い合わせして下さい。(電話871-6837)

四. 灘ふれあいのまちづくり協議会

主催のイベント

灘ふれあいのまちづくり協議会では様々な年代の地域住民の交流の場として、十月のグランドゴルフ、十一月の文化祭、十二月のクリスマス会、二月の餅つき大会を毎年開催しています。また、情報の共有を目的に広報誌「ふれあい灘」の発行をしています。その他にも、シルバースマホ教室、書道体験ワークショップ、生成AI教室など随時神戸市の情報をもとに開催しています。

五. おわりに

灘地域福祉センターの利用状況や、灘ふれあいのまちづくり協議会の活動状況のあらましを紹介しました。灘地域福祉センターは神戸市が設置した「公の施設」です。利用に関する例外規定もありますが、ルールに基づいて

た利用であれば地域内の住民に限らず、どんなでも利用していただけます。会議やサークル活動のみならず、地域交流の場として多くの方々の利用をお待ちしています。



調理室



ピアノ



活動コーナーのスクリーン

【灘地域福祉センター利用時間及び運営協力金表】

利用時間			活動コーナー	多目的室（洋室）	調理室
開館 時間内	午前	9:30~12:30	2,000 円	1,500 円	調理室は単独では 利用できません
	午後	13:00~16:30	2,000 円	1,500 円	
	一日	9:30~16:30	4,000 円	3,000 円	
時間外		17:30~20:30	3,000 円	2,250 円	

ヒガンバナの咲く公園（暑さの残る秋の公園）

下河原公園は、よく手入れの行き届いた清潔な公園です。南側の特徴的な滑り台は子ども達の人気を集めているのでしょうか。公園を囲むカシヤキリが、太い幹の上にしっかりと枝を伸ばし緑陰を作っています。この公園の一角に毎年群生して咲く花があります。ヒガンバナです。強烈な花色と形を持つこの花は、決まってお彼岸の頃に咲くことからヒガンバナとして知られています。何時頃からこの公園で花を咲かせるようになったのでしょうか。ヒガンバナの代表的な別称は「曼珠沙華」ですが、多様な呼び名を持っています。専門家の書物には、香川県の小豆島では「タンポポ」「タンポコ」と呼ぶと書いてあります。ちょっと面喰いますが全国のヒガンバナの異名は小さな変化を入れると千を超すそうです。多くの人々に印象的な花ですが、平安時代や鎌倉時代の古典には出てこず、何時ごろ日本に入ってきたのか不明な様です。現在よく見る生育地は土手や畦道、墓地などですがそれは動物の害除けとして植えられたとされています。



《六年度前半のイベント紹介》

事業交流部会 古岡 芳弘

一、生成AI体験教室（八月七日）

（新規イベント）

福祉センターの活用促進を目的に、夏休み企画として小学生親子十組を募集し、二十二名の参加がありました。REDEE（株）二名の講師ご指導の下、一年生から六年生十二名と同伴者十名と一緒に画像編集ソフト（ドリームスタジオ）を操り、「かっこいい小学校」や「私の理想の神戸のまち」をそれぞれが連想して入力し、画像を作り上げていきます。新しいことに挑戦し、皆さんの前で公表されると歓声が上がりました。将来が頼もしく、楽しみです。



二、書道体験とカレンダー作り（九月七日）

（昨年に続いて開催）

神戸松蔭女子学院大学書道部四名と引率者一名にご指導いただきました。今年は、親子だけでなく、子どもだけやシニアの方の参加も募集し二十五名が世

界に一つだけの自分カレンダー作りを楽しく体験されました。



三、第二十三回グラウンドゴルフ大会

（十月六日 恒例行事）

灘小校庭をお借りして小学生十六人、大人三十二人の計四十八人が選手として参加しました。一チームは、小学生二人と大人四人の六人です。八チームに分かれ、団体戦を行いました。毎年全員が、順位に応じて家庭で使いやすいアイデア商品ゲット。お疲れ様でした！



【今年度の主な行事予定】

◆ 十一月三日（日・祝）文化祭

◆ 十二月二十二日（日）クリスマス会

◆ 二月十一日（火・祝）餅つき大会

※予定は変更されることがあります。



編集後記

日向灘地震が発生し、南海トラフ地震臨時情報が繰り返し流れるなど大きな地震が続けて発生しております。世界で発生するM6以上の地震のうち約2割が日本周辺で起きているといわれ「地震大国ニッポン」の何時、何処で、どの位の大きさで発生するのか予測の出来ない最も厄介な天災であります。また異常気象による大雨、台風等の自然災害にも見舞われております。ふれあい灘43・44号で都賀・河原防災福祉コミュニティによる防災合同訓練の取組を掲載いただきましたが、この記事をもう一度読んでいただき、自分と自分の大切な人を守るために、自分達が何をすれば良いのか、何が出来るのかを問いかけ、考えて頂ければと思います。〈大谷〉

